

# 平成22年度 県・横浜・川崎・相模原 四首長地球温暖化防止表彰式

日時：平成22年10月13日（水）

15:10～15:35

会場：ワークピア横浜 2階

おしどり・くじゃく

## 次 第

- 1 開会
- 2 横浜市長あいさつ
- 3 受賞者紹介
- 4 表彰
- 5 記念撮影
- 6 閉会

## ◎県・横浜・川崎・相模原四首長地球温暖化防止表彰の概要

### ●目的

地球温暖化防止を目指して、地域での環境保全型ライフスタイルの実践や社会貢献活動に取り組む住民・事業者等の功績を称え、その活動を四団体共同で広く周知するため、県・横浜・川崎・相模原四首長連名による環境表彰を平成20年度から実施しています。

### ●表彰の対象

神奈川県内に、在住又は在勤する個人及び事業所等を有する団体等で、地球温暖化防止活動において特に優れた取組や業績をあげ、他の模範となるものを表彰しています。

昨年度、(平成21年度)については、川崎市立井田小学校、株式会社川崎フロンターレ、生活協同組合コープかながわ、特定非営利活動法人ソフトエネルギープロジェクト、日産自動車株式会社横浜工場、株式会社ハセテックを表彰しました。

### ●記念品



間伐材を使用した額縁



卓上ランプシェイド (竹細工)

### 【問い合わせ先】

横浜市 地球温暖化対策事業本部地球温暖化対策課

〒231-0017 横浜市中区港町1丁目1番地

電話:045-671-2681(直通) FAX:045-641-3490

## 平成22年度

### 県・横浜・川崎・相模原四首長地球温暖化防止表彰受賞者

受賞者	受賞内容
佐川急便 株式会社 川崎店	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 事業所における推進体制として組織した「エコ安全ドライブ推進本部」のもと、「エコ安全ドライブ7ヶ条」にエコドライブに関する取組項目を定め、運転技術や燃費の向上を図っている。また、事業所独自の取組として「エコドライブの添乗指導」等を実施し、大幅な燃費の向上を達成した。</li> <li>● これらの活動成果は、環境省主催の「エコドライブコンテスト」において高く評価され、平成18年度に環境大臣賞を受賞した。それ以降も継続的に環境に配慮した活動に取り組み、毎回コンテストにおいて優秀な事業所として表彰されている。</li> </ul>
東海大学 チャレンジセンター ライトパワープロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学生が企画・運営する東海大学チャレンジセンターライトパワープロジェクトは、平成18年に設立以来、ソーラーカー、電気自動車、燃料電池車、人力飛行機の開発、設計、製作を行い、国内外の大会・競技会に出場している。オーストラリアで行われた「Global Green Challenge」(ソーラーカーラリー)での優勝(2009年)や「ワールドエコムーブ」の燃料電池部門での優勝(2010年)など着実に実績をあげている。</li> <li>● 地域の子どもたちを対象としてエコカーを用いたエコ教室の開催や各種環境イベントへの出展などの普及啓発活動を通じて、地球温暖化防止に積極的に取り組んでいる。</li> </ul>
三菱重工業 株式会社 汎用機・特車事業本部	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 蛍光灯への高効率安定器の導入など事業所全体にわたる省エネルギー活動や再生可能エネルギーの積極的活用により、CO2排出量の削減を進めている。</li> <li>● 徹底した廃棄物の分別・リサイクル化の推進により、平成16年には埋立処分率2%未達を達成、廃棄物リサイクル率98%以上を維持している。</li> <li>● 「相模原の環境をよくする会」の会員として、昭和60年から、環境教室や各種環境イベントなどを通じて環境保全活動に積極的に取り組んでいる。</li> </ul>
株式会社 横浜フリエスポーツクラブ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 2008年7月6日に日産スタジアムで行われたガスパ草津戦において、「グリーン電力証書」を活用した「カーボンオフセットマッチ」を実施した。また、選手もウォーミングアップ時に「エコTシャツ」を着用し、地球温暖化防止をPRした。</li> <li>● 昨年度は「クールアースデー・マッチ(7/5)」で古紙古布リサイクルを実施し、「かながわ区民DAY(7/26)」でカーボンオフセットを行った。また、サッカー教室で年間約80校の小学校を訪問し、ECO意識向上のリーフレット(キッズブック)を配布し、地球温暖化防止の普及啓発活動を行った。</li> </ul>

<b>受賞者名</b> (所在地)	<b>佐川急便株式会社 川崎店</b> (川崎市中原区宮内2-26-15)
<b>受賞者について</b>	<p>佐川急便株式会社 川崎店 は、同社の営業店のひとつとして、宅配便の「集荷業務」と「配達業務」を担当しています。</p> <p>平成18年度から4年連続して、環境省等の主催する「エコドライブコンテスト」に参加し、環境大臣賞を始めとして合計4回の受賞を果たし、高いレベルでエコドライブ活動を継続して実践しています。</p>
<b>受賞内容について</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 安全とエコがひとつになった「エコ安全ドライブ」を推進して、店長を本部長とする「エコ安全ドライブ推進本部」を組織し、従業員が一丸となって環境にやさしい安全な運転を目指しています。</li> <li>○ エコ安全運転に特に重要とされる項目を「エコ安全ドライブ7ヶ条」に定めてエコ安全運転を実践する際の規準として従業員に周知しています。</li> <li>○ 各従業員は「エコドライブシート」に運転状況や燃料使用量を記録し、運転内容を検証することにより運転技術の向上や燃費向上などに取り組んでいます。</li> <li>○ 「エコドライブの添乗指導」、「ドライバー自身による車両点検」などの独自の取組により大幅な燃費向上を達成しています。</li> </ul>

【活動の様子】



メーターに「エコ安全ライン」を掲示



ドライバーによる車両点検

<b>受賞者名</b> (所在地)	<b>東海大学チャレンジセンター ライトパワープロジェクト</b> (平塚市北金目4-1-1)
<b>受賞者について</b>	<p>東海大学チャレンジセンター ライトパワープロジェクトは、学生の自主的な企画に基づき、工程管理や組織の運営等をすべて学生主体で行うプロジェクトです。</p> <p>平成18年に設立以来、ソーラーカー、電気自動車、燃料電池車、人力飛行機の開発、設計、製作を行い、国内外の大会・競技会に出場し、実績をあげています。また、子どもたちを対象とした「エコカー教室」の開催や各種環境イベントへの出展など地域貢献活動・広報活動に積極的に取り組んでいます。現在、学生95名で構成されています。</p>
<b>受賞内容について</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 電気自動車、ソーラーカー、人力飛行機の各班が主体となって活動し、技術レベルの向上を図っています。 <ul style="list-style-type: none"> <li>* 電気自動車班の活動 <p>鉛蓄電池を使用して走行する電気自動車及び燃料電池自動車の改良を行い、省エネルギー性能を競うレースである「ワールド エコノムーブ」において、2004～2008年に鉛蓄電池部門で5連覇、2008～2010年には燃料電池部門で優勝しました。</p> </li> <li>* ソーラーカー班の活動 <p>5台のソーラーカーを有し、2008年には南アフリカ共和国をほぼ1周するレースで総合優勝(2010年も参加)、2009年にもオーストラリアにおける世界最高峰のソーラーカーラリーで総合優勝しました。</p> </li> <li>* 人力飛行機班の活動 <p>低翼式の人カプロペラ機を作成し、「鳥人間コンテスト(読売テレビ系)」に参加しました。</p> </li> </ul> </li> <li>○ 小・中学生等を対象とした「エコカー教室」や「ものづくり教室」などを開催し、子どもたちへの「環境教育」を行うとともに、各種展示会やイベント等に参加しました。</li> </ul>

【活動の様子】

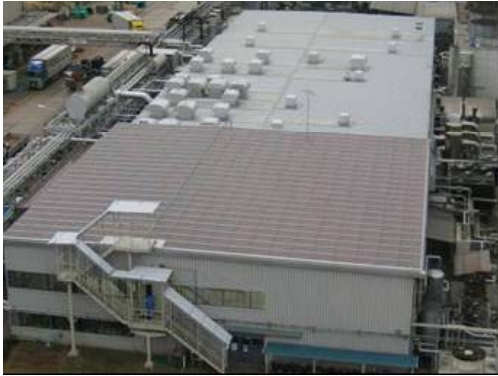





小学校4年生を対象としたエコカー教室



南アフリカのレースに参加するソーラーカーとメンバー



<p><b>受賞者名</b> (所在地)</p>	<p><b>三菱重工業株式会社 汎用機・特車事業本部</b> (相模原市中央区田名3000)</p>
<p>受賞者について</p>	<p>三菱重工業株式会社 汎用機・特車事業本部は、ハイブリッド式フォークリフトや、温室効果ガスの削減に大きく寄与するコージェネレーションシステムなど、環境問題の解決に貢献する製品を製造する事業所です。 従業員数は約2,200人で、一人ひとりの高い環境意識のもと、事業活動の全ての領域で環境負荷の低減に取り組んでいます。</p>
<p>受賞内容について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ESCO事業を活用して点灯時間の長い工場の蛍光灯に高効率安定器を採用することにより、年間約800トンのCO2を削減しています。事務所エリアについても実施中であり、さらに年間300トン以上の削減を見込んでいます。</li> <li>○ 平成17年3月、事業場内のエネルギーセンターに50kWの太陽光発電パネルを設置し、年間約20トンのCO2を削減しています。</li> <li>○ 廃棄物の分別及びリサイクル化を推進し、平成16年11月には埋立処分率2%未満を達成、廃棄物リサイクル率98%以上を維持しています。</li> <li>○ 「相模原の環境をよくする会」の会員として、昭和60年から、地域の豊かな自然を守り、快適な環境をつくるための活動に積極的に取り組んでいます。</li> </ul>
<p>【活動の様子】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>エネルギーセンターに設置した 50kWの太陽光発電パネル</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>廃棄物リサイクル率98%以上を維持する資源回収センター</p> </div> </div>	

<b>受賞者名</b> (所在地)	<b>株式会社横浜フリエスポーツクラブ</b> (横浜市保土ヶ谷区川島町522-3)
<b>受賞者について</b>	<p>株式会社横浜フリエスポーツクラブは、「YOKOHAMA FC」のチーム名で平成10年に設立したプロサッカーチームです。</p> <p>地球に与えている環境負荷を再認識し、積極的に環境保全に取り組んでいき、プロサッカーチームの運営業務を通じて社会全体の環境意識向上に寄与していくことを使命と考えています。</p>
<b>受賞内容について</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 平成20年7月6日の日産スタジアムで開催されたザスパ草津戦において、「グリーン電力証書」を活用した「カーボンオフセットマッチ」を行いました。          また、選手もウォーミングアップ時に「エコTシャツ(売上の一部を横浜市のエコ活動に寄付するオリジナルTシャツ)」を着用して地球温暖化防止をPRしました。</li> <li>○ サッカー教室で年間約80校の小学校を訪問し、ECO意識向上のリーフレット(キッズブック)を配布して児童への地球温暖化防止意識啓発に努めました。</li> <li>○ 今年度は神奈川区とエコパートナー協定を結び、「かながわ区民DAY(5月22日)」実施の他、ホームゲーム(全18試合)でカーボンオフセット実施しています。</li> </ul>
<p>【活動の様子】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="264 1494 592 1980">  </div> <div data-bbox="794 1525 1366 1904">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div data-bbox="204 2002 738 2033"> <p>選手・スタッフが試合前にごみ拾いと打ち水</p> </div> <div data-bbox="831 2002 1310 2033"> <p>スタジアムの電光掲示板に成果を表示</p> </div> </div>	